

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」西院校（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年10月7日 ～ 2025年11月7日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13 (回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2025年 10月7日 ～ 2025年11月7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ 一対一の個別療育でその子に応じたオーダーメイドの療育。	・ ご家族のご意見や事業所以外の様子を知るために4 5分の療育時間に1 5分間の振り返りを行っております。	・ 担当指導員や、児発管だけではなく、チームで情報共有や他指導員が小集団療育で関わることで、多面的な視点や集団での様子の深い理解に努め、就学後に自分らしく生活を過ごすことのできる取り組みを行っております。
2	・ ご家族の方に来ていただいて活動を見学する方が多く、本人・ご家族・指導員で本児に応じた療育を行っている。	・ 発達段階や生活する場の変化に応じて、母子分離が必要な方は、療育室の外でモニターを使い活動の様子を視聴していただいております。	・ 本人支援の視点はもちろん、ご家族の方の子育てに関する困りなど中心に指導員だけではなく事業所全体の職員でサポートできることを目指して取り組んでおります。
3	・ 必要に応じて園訪問を行っている。	・ 園訪問を行った際は、保護者の方に、園での様子の報告やこれから事業所でできることなどを説明させていただいている。一度園訪問させていただいた園の方には、密な連携を取らせていただいております。	・ 今後も保護者の要望に応じて、園訪問を行かせていただき、継続して関係機関とは密な連携を行っております。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 個別療育なので集団での活動が少ない。	・ 個別療育という療育形態が要因と考えております。	・ 事業所の強みを生かした取り組みや、ご利用される前に保護者との二ーズの共有や丁寧な説明を行なってまいります。
2	・ 他の施設・地域とのつながり。	・ ご希望されていない方や必要と思われていない方・療育時間の都合上できないという現状があります。	・ 利用者の方からの強い要望や必要とあらば、今後事業者内で相談した上で、実行させていただきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「きらり」西院校 (児童発達支援)

公表日 2025 年 11 月 28日

利用児童数 13

回収数 12

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1		1		利用者の方に快適に過ごしていただけるように環境設定させていただいております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1				今後も、毎日の掃除を怠らず、心地よく過ごしていただける教室環境を目指して活動してまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12				保護者のニーズをしっかりと聞いてくださり作成してくださったと思います。	今後とも保護者様の個別のニーズをとらえ支援計画を作成させていただきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	2	0	2		モニタリングの際や、支援計画説明時に、今後共々ご丁寧に説明させていただきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1			答えられないルールが守れないなど続くというのかな？と不安になる。	今後も、引き続き困りごとなどご相談いただける体制を整えてまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12				毎回考えられた違うあそびで本人もなにをするのかわくわくしていると思います。	利用者の方によりそった支援を今後もおこなってまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	1	3	まだ個別支援しか受けていないのでわかりません。	年中年長の方を対象に集団療育もやらせていただいております。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3	1	3		今後、モニタリング時や家族支援の際にペアレントトレーニングを実施したいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	12				毎回フィードバックの時間をとっていただき日常のこどもの様子を伝えたりできています。・出来事を聞いていただいて嬉しい。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12				言いにくいこともあると思いますが、助言等がすごく助かっております。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12				親と同じように子どものことをよく見ておしえてくださっていてありがたい。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	2	5	小学校就学前に保護者会等があると放デイ選びなどで助かります。	今後も、小集団療育の際に親グループで保護者の方の交流や就学に向けたお話をさせていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1				引き続きご家族からのご相談お受けできるよう体制を整えてまいります。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1				引き続き、支援の中でも、子どもとの意思疎通のために絵カードや話しやすい雰囲気での対応を心がけてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	1	0	5		引き続き、ＨＰで小集団療育の支援内容など発信を行ってまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10			2		個人情報の取り扱いに関しては十分に注意して扱っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1	0	6		マニュアル等のファイルは利用者の方が閲覧できる本棚にありますが一層、利用者の方に周知できるよう行ってまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1	1	4		訓練自体は毎月行っておりますが利用者の方に今以上の周知を徹底してまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	1	0	4		安全計画は作成させていただいておりますが、利用者の方に今まで以上の周知を徹底してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1	0	4	今まで事故がないので不明	事業所内で、大きな事故はありませんがおきた際はマニュアルに応じて連絡や状況等について説明させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12				とても楽しみにしています。毎回早く行きたいと言っている。きらりに行けないとき泣いてしまうくらい楽しく通っています	
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				子どもに寄り添った支援で安心感がある 担任制で同じ先生のための安心感がある 相談に乗ってくださる雰囲気がある	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」西院校（児童発達支援）		2025 年 11 月 28 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		法令を厳守したスペースで確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		法令で必要とされる配置数を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		支援用具が収められている棚は支援室とは別に設けております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		利用者来校前に毎回事業所の清掃を行っております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個別療育のため、集団療育の機会を除き、一人1部屋が確保された状態で支援を行っております。使用する部屋とは別にクールダウンの部屋を確保しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		月一回のミーティングと近況事態の際には、全員参加のミーティングを実施しております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者への満足度調査アンケートを実施し業務改善につなげております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎月定期的に校舎内にてMTを実施しております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		福祉センターの方や京都市の方への療育見学や職員との話し合いを行っております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		月一回の会社内での研修を行っております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		プログラムを作成させていただき、内容を公表させていただいております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・利用者の方からの強い要望や必要とあらば、今後事業者内で相談した上で、実行させていただきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		児発管と指導員の話し合いで作成させていただき、計画に沿った支援を行っております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		児発管と指導員の話し合いで作成させていただき計画に沿った支援を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		統一したアセスメントシートで作成させていただいております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		ガイドラインにそった項目が設定されております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	基本的には個人で考えているが、職員間での相談も積極的に行なっております。	引き続き、個別療育という特性を最大限活かせるようにチームで療育を行っております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		必要に応じて事例を共有議論するケース会議開催している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別療育を中心に支援を行っております。年 中年長の方は小集団療育を行っております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		小集団療育は、事前の会議を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	業務時間などの都合もあり、必ず行っておりません。担当外の場合、月ごとにある校舎内MTで利用者の状況を共有しております。	今後も気になったところは、適宜職員間で話し合いや毎月のMTで振り返り等を行ってまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		小集団療育の際は計画書の共有とMTをしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		毎回指導記録を取りみなおすことでお子様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて指導内容や方法をブラッシュアップさせていただいております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		カンファレンス会議には管理者と担当指導員が参加するようにしている。活動の内容と全体の支援の中心に報告・情報共有させていただいております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	要望により関係訪問を行いお子様の様子を共有させております。	今後、こちらの事業所に来ていただく機会を設定できればと考えております。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		保護者の方の要望に応じて情報共有させていただいております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		保護者の方の要望に応じて情報共有させていただいております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			うさぎ園から支援の見学に来ていただき、助言をいただいております。	今年度は、来ていただく機会がなかったが、今後は助言をいただく機会を設定できればと考えている。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	要望があれば、適宜実施させていただいております。	要望があれば、適宜実施させていただきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		FB・家族支援の機会を通して保護者の方とのコミュニケーションをとっております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		フィードバック時に家庭での対応方法についてのアドバイスや勉強会への情報提供をさせていただいております。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に丁寧にご説明させていただいております。事業所には重要書類を提示させていただいております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		計画書作成時には、丁寧に説明させていただいております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		支援中・フィードバック・モニタリング時におこさまのご家族のご意向を確認させていただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		フィードバック時にお話する以外に、別日を設定し、お話する機会を設けております。	

保 護 者 へ の 説 明 等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		児童発達支援の小集団活動では保護者同士で交流する機会を設けております。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		小集団療育に参加されている保護者の方には、交流会への参加をお声がけさせていただいております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		室内提示スペースにて活動内容等のご案内をさせていただいております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付きロッカーで保管しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		お子様や保護者の方の状況に応じて、わかりやすい方法で意思疎通や情報伝達を行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	要望により計画させていただいております。	児発管中心に地域の研修に参加しております。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルを策定し、研修を実施しております。また重要書類を掲示しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		月一回の避難訓練を行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		見学時やモニタリングにてお聞きしております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	食事提供を行っておりません。 小麦粘土遊びをする際はアレルギーの有無を確認させていただいております。	アレルギーに関しては適宜保護者の方にお聞きしております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成させていただき、訓練を行っております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	契約時に緊急事態が起こった際の連絡方法などを説明させていただいております。モニタリング等でご家族の方に連絡先の確認を随時行っております。	職員に対しても研修を中心に周知させていただきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハット事案が起こった際はヒヤリハット報告書を作成し話し合いの上、保管しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的に職員研修を実施しております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		マニュアルを策定し、研修を実施しております。個別支援計画の特記事項にも記載しております。	